

# 連携のための関係づくり



独立行政法人 国立病院機構

大阪南医療センター

がん相談支援センター・地域医療連携室

がん相談支援センター長補佐

医療社会事業専門職

社会福祉士 萬谷和広



# 独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター



470床

地域医療支援病院

エイズ拠点病院

地域がん診療連携拠点病院

BFH（赤ちゃんにやさしい病院）認定施設

大阪府  
Osaka Prefectural  
Government



モックル

河内長野市  
Kawachinagano City



市域面積の約7割を森林が占めています  
人口のほとんどが北部に集中しています。

【人口】  
109,580人

【世帯数】  
47,291世帯

※平成27年11月末現在



# 独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター がん相談支援センター



「がん相談支援センター」は、全国の「がん診療連携拠点病院」や「小児がん拠点病院」「地域がん診療病院」に設置されている、がんに関するご相談の窓口です。

患者さんやご家族のほか、地域の方々はどなたでも無料でご利用いただけます。

「がん相談支援センター」では、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関についての情報、不安やお困りごとなど、がんに関するさまざまな相談ができる窓口です。

# 今日の話の流れ



1. 連携のきっかけは？
2. ①お互いを見学 = 知り合う
3. ②連携をする = 結びつく
4. ③直接情報提供をする = 交流をする
5. 連携のための関係づくりで大切なこと・その意味
6. これからどうしましょう？ = 今後の展望

# 連携のきっかけは？



## 2015年1月29日 公共図書館員のための 医療情報サービス研修会 in 大阪

豊中市立岡町図書館

河内長野市立図書館の司書さんと  
知り合う機会をいただきました。

- あいさつをして
- 名刺交換をして
- 見学に来てくださいという話をして
- その後、メールのやり取りをしました。

 **公共図書館員のための  
医療情報サービス研修会 in 大阪**  
日時：2015年1月29日(木)10時～17時30分  
場所：豊中市立岡町図書館（大阪府）

主催：日本学術振興会 科学研究費基盤研究(B)「アクション・リサーチによる公共図書館課題解決のデザイン」  
研究班(研究代表者：慶應義塾大学田村俊作)  
共催：独立行政法人国立がん研究センター運営費交付金研究開発費研究班  
科学技術コミュニケーション推進事業機関連携推進「ネットワーク形成型」継続的なワークショップ運営に  
よる情報弱者向けがん情報ツールの作成と普及事業班  
後援：日本図書館協会(予定)、豊中市教育委員会(予定)

<午前> 10:00-12:00

- 1.医療情報サービスの現状と可能性 田村俊作(慶應義塾大学)
- 2.病気になったときに求められる情報 高山智子(国立がん研究センター)
- 3.がん相談支援センターで受ける相談 萬谷和広(大阪南医療センターがん相談支援室)
- 4.患者図書室で受ける相談  
新子雅代(大阪市立総合医療センター患者図書室やわらぎ空間さくら)
- 5.患者図書室における選書、蔵書構成に基づいたサービス  
押田いく子(東邦大学医療センター大森病院「からだのとしよしつ」)

<午後> 13:00-17:30

- 6.こわいことあらへん！ 医学情報サービス 一選書とレファレンスー  
塚田薫代(静岡県立こども病院医学図書室)
- 7.医療情報サービス・ワークショップ  
<各班> 3,4 班に分かれ、各班に割り当てられた「利用者からの質問」に  
どのような資料を使ってどのように回答するかを考える
- 8.医療情報サービス運営の実際  
<事例1> 広島市立図書館 <事例2> 豊中市立岡町図書館
- 9.館内見学

17:30-18:30 懇親会(同じ会場でお茶会)

参加費：無料  
問合せ・申込み：御名前と御所属を明記のうえ、メールまたは郵送でお申し込みください。  
**library.websurvey@gmail.com**  
(研修会実行委員会)  
郵送先：〒108-8345 東京都港区三田2-15-45  
慶應義塾大学文学部 田村俊作研究室 研修会実行委員会



# ① お互いを見学 = 知り合う

病院



図書館



公共図書館員のための医療情報サービス研修会后  
メールで意見交換した上で、  
お互いの職場（特に情報を扱う側面）について  
見学し合うことから始めました。

# 【病院の情報の特徴】

## 当院の主な情報



看護学校図書室  
(患者さんに開放)



掲示板



患者情報室  
(患者図書室)



外来の図書



診察による情報提供



がん相談による  
情報提供

## 病院で扱われる情報の特徴

- ・エビデンスに基づいたものが主
- ・紙媒体でないことも多い

紙等の資料

人を介した情報



紙面の情報・PC  
リーフレット、著書、冊子



医師等の医療スタッフ  
相談員自身

地域の支援者  
ケアマネージャー 等々



## 情報提供の特徴



患者・家族

アセスメント



相談員

その人にマッチする情報を、  
適切な媒体で 

# 【図書館員の方に聞かれて分かったこと】

見学の際に、図書館員の方にいただいた質問

Q 1 ) 選書はどうしていますか？

A 1 ) エビデンスのあるものを選んでいきます

Q 2 ) 予算はどうしていますか？

A 2 ) その場しのぎです

Q 3 ) 出版社等の選定はどうしていますか？

A 3 ) 考えたこともありません



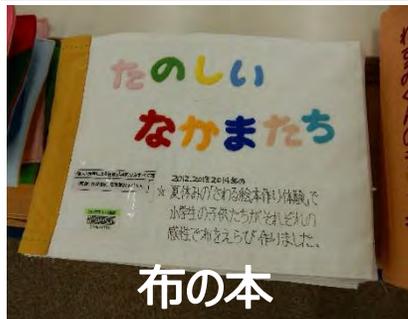
書籍等の情報を扱うプロに学ぶことはとても多かったです。

情報の偏りが無い形、中長期的な整理ビジョンを持つ必要性など、自分たちにはないものを教わりました。

病院がどんな形で情報提供をしているのか、その方法についてもお伝えしました。

# 【図書館の情報の特徴】

## 図書館の主な情報



## 図書館で扱われる情報の特徴

- ・幅広い情報がある
- ・紙媒体が中心。それ以外も
- ・障がいを持つ方にも利用しやすい工夫

病院では忘れがちな視点

紙の情報

PC

映像・音声



## 情報提供の特徴

利用者

直接



検索

図書館員  
(レファレンス)

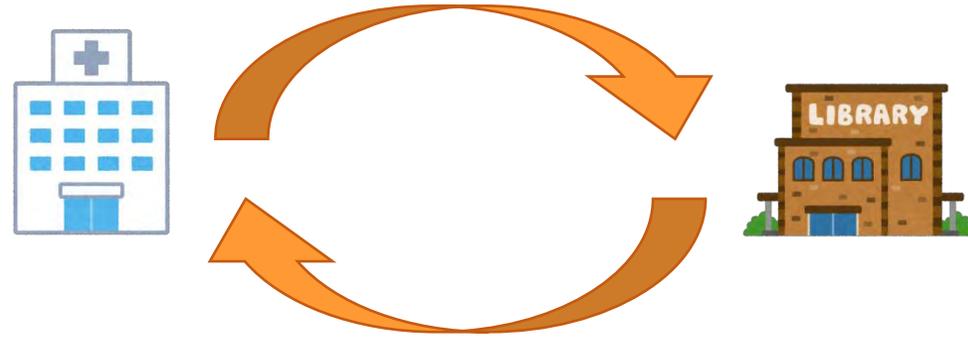
その人が求める  
情報を紹介



# 【見学によって分かったこと（お互いの特徴）】

|         | 病院（がん相談支援センター）   | 図書館  |
|---------|--|--|
| 認知度     | まだまだ認知度が低い<br>利用者（約のべ3,000人/年）※病院による                                     | ずば抜けた認知度！知らない人はいない<br>河内長野市11万人⇒年間利用者数(53.7万人/年(平成26年度)) |
| アクセス    | 病院に来るのは患者さん(普段は来ない)<br>相談窓口を訪れるには、勇気がいる                                  | 軽い気持ちでアクセスができる。  |
| 場所・空間   | 現実的な場所(医療の場・診察の場)<br>「どうしたんだろう？」と気にされる                                   | 一步引いて自分をみれる<br>居続けても干渉されない、気にならない<br>落ち着く空間が用意されている      |
| 情報を得るには | 相談が中心（情報室を利用することもある）<br>自分のプライベートな部分も伝えないといけない。<br>体力・精神的なしんどさ（人と接する・話す） | 本が中心（レファレンスを利用することもある）<br>自分のペース、タイミング、時間で               |
| 情報の内容   | 紙媒体は提供方法に工夫が乏しい<br>エビデンスの高い情報<br>情報量は、多いわけではない。                          | 幅広い情報<br>一般知識も含めて多くの情報がある<br>対面での情報提供は乏しい                |

## ② 連携をする = 結びつく



### ①お互いの特徴を生かす

- ・病院で置く図書館情報

幅広い情報が図書館では提供されていることの情報

利用者にとって有益な情報

- ・図書館で置くがん相談支援センター情報

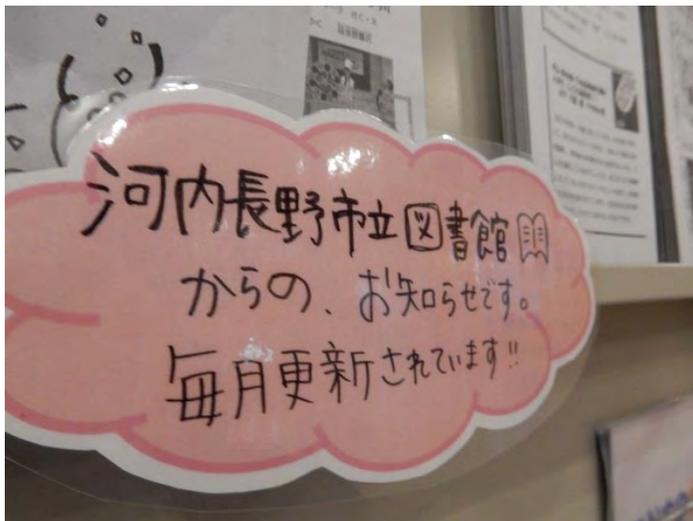
病院では、個人にあつたより専門的な情報提供ができることの情報

利用者にとって有益な情報

上記2点で、まずは「**情報の連携**」をスタートしました。

# 【病院における「情報の連携」】

## 情報を配置している場所



月に10～15部ほど、減っています。

毎月、図書館から郵送いただき、更新しています。



外来受診の動線上に設置した棚に、「河内長野市立図書館」の情報を配置しました

# 【病院における「情報の連携」】

## 情報を配置している場所



病院エントランスの横に「患者情報コーナー」を設置しています。

患者情報コーナー「陽だまり」  
の中にも設置。  
棚の上に場所を設けました。



# 【病院における「情報の連携」】

## 配置している情報

病院にはなかなか置かれていない情報であるので、「読み物」として患者さんたちは手に取っている。  
定期的に、図書館から資料を郵送いただいている。

図書館だより (月1回) 図書館に入った新しい本を  
楽しく紹介しています。

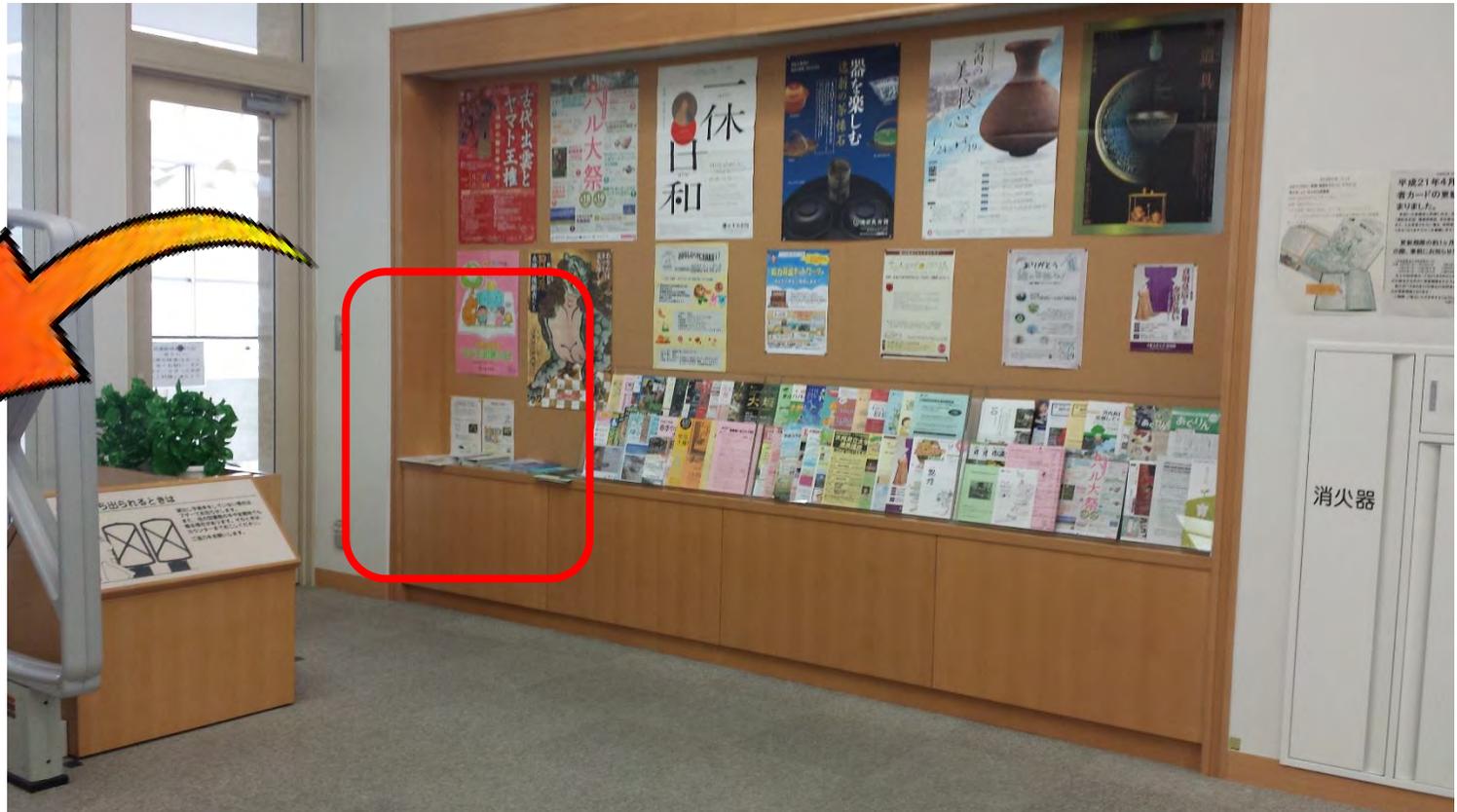
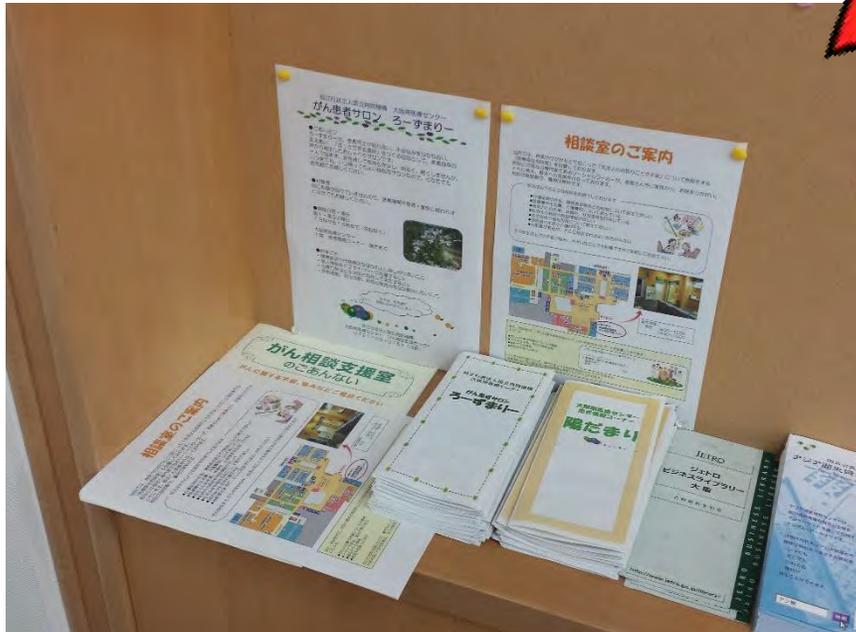
## 図書館の利用案内

図書館ではどんな情報があるか  
その利用方法などが書かれている。



# 【図書館における「情報の連携」】

情報を配置している場所



# 【図書館における「情報の連携」】

## 配置している情報

### 相談室(がん相談支援センター)

### 相談室のご案内

当院では、病気やけががももて起こった「生活上のお困りごとや不安」について相談をする『医療福祉相談室』を設置しております。相談には福祉の専門家であるソーシャルワーカーが、患者さんやご家族から、お話をうかがい、ともに考え、解決への支援を行なっております。相談は秘密厳守、費用は無料です。

例えば以下のような相談をお受けしております

- 介護保険や年金、障害者手帳などの制度について教えて欲しい
- 医療費や生活費、介護費用について困っている
- 病気のため失業、休職中、社会復帰を目指している
- 転院先の病院や施設情報が欲しい
- 住宅改修や福祉用具について教えて欲しい
- 退院後の生活や介護が不安
- 心配事があるが、どこに相談すればよいかわからない
- 医療安全に関して相談したい

その他生活上での不安や悩み、ささいなことでも結構ですので気軽にご相談下さい。



**1階**

受付時間  
平日 9:00~12:00  
13:00~16:00

『がん相談支援センター』専門スタッフ

- ソーシャルワーカー
- 看護師(専門的教育課程を修了)
- 臨床心理士
- 医師 など

また、相談室内に、がんに関する相談室として『がん相談支援センター』を設置しております。こちらは、

- がんの治療や検査についての情報
- イライラする、気分が落ち込む
- 緩和ケアの情報
- 病気や将来への不安

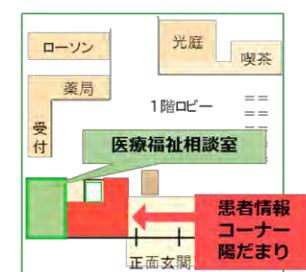
などの相談内容に対して、専門スタッフがお話を伺いさせていただきます。  
※基本的に1回の面接は、30分程度とさせていただきます。

独立行政法人 国立病院機構 大阪南医療センター  
TEL 0721-53-5761 (代)

### 患者さん向け「患者情報コーナー」

### 陽だまりの場所

大阪南医療センター 1階  
場所：正面玄関入ってすぐ左  
利用時間：月曜日～金曜日  
9:00～17:00  
(土日祝を除く)



陽だまりの願ひ

陽だまりは、利用される方が、病気や治療、社会資源の情報を知ることで、がん患者サロンなどを通じて、情報交換を行うことを目的とした場所です。陽だまりを活用することで、医療についての知識をもち、医療に積極的に参加していただくことができればと考えています。

利用される方と医療者との「橋渡し」役となることで、陽だまりの願ひです。

お守りいただきたいこと

- 陽だまりにある情報が、適切に活用いただけるよう、目的に沿ったご利用をお願いします。
- 資料の整理整頓にご協力ください。
- 資料は、はお持ち帰りいただけるものと、閲覧のみのものがあります。閲覧のみの資料は、陽だまり内でご覧ください。
- 陽だまり内の飲食は、ご遠慮ください。
- 陽だまりの資料は、一冊向けの資料です。治療を受ける際は、医療者と十分に相談いただきますようお願いいたします。

<お問い合わせ先>  
〒 586-8521  
河内長野市木戸東町2-1  
TEL 0721-53-5761 (代表)  
大阪南医療センター  
がん相談支援センター・医療福祉相談室

### 患者さん同士の語りの場 がん患者サロン「ろーずまりー」

独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター  
がん患者サロン ろーずまりー

●ごあいさつ  
ろーずまりーは、患者同士が知り合い、不安悩みを分かち合い、支えあい、「ほっとできる場所」をつくる目的として、患者自身の声から発生したおしゃべりサロンです。一人で悩まず、会を通して気持ちを少し、明るく、軽くしませんか。いつ来ても、いつ帰ってもよい自由なサロンなので、どなたでもお気軽にお越しください。

●対象者  
特に制限を設けていませんので、医療機関や患者・家族に関わらずどなたでもお越しください。

●開催日時・場所  
第3火曜日  
13時から15時まで(祝日除く)

大阪南医療センター  
1階 患者情報コーナー 陽だまり

●約束ごと

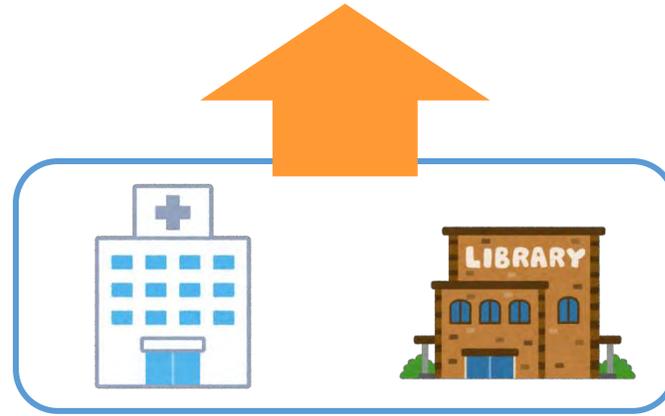
- ・健康食品や代替療法をほかの人に押し付けないこと
- ・個人情報などプライバシーに配慮すること
- ・治療方針など主治医と相談して決定すること
- ・宗教活動、政治活動、物品の販売や宣伝活動はしないこと

まずは、お気軽にお問い合わせください

独立行政法人国立病院機構  
大阪南医療センター がん相談支援センター  
0721-53-5761 (代表)

講演会などをする際にその広報となるパンフレット等もタイムリーにおいていただいております

### ③ 直接情報提供をする = 交流をする



一歩進んで直接情報提供をするといった、  
交流することを行いました。

図書館におけるニーズに対して  
病院としてどのような情報提供ができるか、  
協働して考え、ひとつの企画を実施しました。

# 【プロセス】



## 図書館

図書館が行っている講座の講師派遣をお願いできないか。テーマとしては、がん患者の支援  
・協働の機会の提案

会場の確保

広報 P R

申込対応

展示資料の確保と展示リスト作成



## 病院

本講座を、ソーシャルワーカー、看護師、心理士といったチームで実施するのがいいかも  
・テーマ、内容の検討、講師の調整

講座資料等の準備  
配置資料の選定



**講義本番**

河内長野市立図書館・大阪狭山市立図書館  
館・富田林市立図書館  
3市図書館連携講座

# 【実施内容】

河内長野・富田林・大阪狭山三市図書館連携講座

～すこやかに生きる～

## 第1回 知っておきたい“がん”のこと

がんの予防法、早期発見の大切さ、がんになるとどうなるか…

現場で活躍するソーシャルワーカー・看護師・心理士が

わかりやすくお伝えします。



日時：平成27年8月8日（土）午後2時～4時

場所：河内長野市立市民交流センター（キックス）

3階大会議室

参加無料

定員：60名（抽選） 講師：独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター職員

申込方法：はがきに住所・氏名（ふりがなも）、年齢、電話番号、催し名を記入して「河内長野市立図書館」宛でお申し込みください。また、河内長野市立図書館内のカウンター、ホームページの申込フォームからも申込できます。

申込期限：7月18日（土）（消印有効）

申込先：〒586-0025 河内長野市昭栄町7-1

河内長野市立図書館

（問合せ先）0721-52-6933

★「会場へのアクセス」★

南海/近鉄『河内長野』駅より南海バス

①のりば（小山田南方面、又は木戸東町方面）

『市民交流センター前』下車すぐ



（今後の三市図書館連携講座の開催予定）

第2回 9月12日（土）午後2時～4時30分

バリアフリー上映会『博士の愛した数式』 会場：大阪狭山市立図書館

（※交通事故により80分しか配様が残らない「博士」と家政婦の「私」の心のふれ合いを描いた作品）

第3回 ※がんにまつわる講演会を今秋に開催予定※ 会場：富田林市立金剛図書館

※第2回・3回については詳細決定次第、図書館ホームページ及びチラシ（三市のいずれの館でも掲載・配布予定）でお知らせします。なお、申込については各回ごとに、会場となる図書館までお申込みいただく必要があります。

←  
広  
報

→  
講  
演  
プ  
ロ  
グ  
ラ  
ム

## 知っておきたい“がん”のこと



がんの予防、早期発見、がんになると何に困るのかなど、  
ソーシャルワーカー・看護師・心理士からお伝えします！



### 目的

- がんに関する基本的な内容の理解を深めてもらいます。
- 予防や早期発見など、皆さんにとって大切な事柄をお伝えします。
- がんになると生じる問題について、一緒に考えます。
- がんになるとまず何をすべきか、知っていただきたいことを覚えてもらいます。

### スケジュール

|   | 項目                      | 主な内容  | 時間  |
|---|-------------------------|---|-----|
| 1 | ごあいさつ                   | ・メンバー紹介<br>・今日のお話の内容                                  | 5分  |
| 2 | がんに関する基礎知識              | ・がんが発生するしくみ<br>・がんの治療                                 | 15分 |
| 3 | がんを予防するためにできること         | ・予防の健康習慣<br>・食事などについて                                 | 15分 |
| 4 | がん検診・早期発見               | ・検診とは、検診のメリット<br>・検診の受け方                              | 15分 |
| 5 | 質疑応答                    |   | 5分  |
| 6 | がんになると生じる問題             | ・身体の問題<br>・生活の問題<br>・心の問題                             | 20分 |
| 7 | 質疑応答                    |   | 5分  |
| 8 | がんと診断されたらまず行うこと・知っておくこと | ・気持ちの持ち方<br>・情報の集め方<br>・緩和ケア知っていますか？<br>・がん相談支援センターとは | 10分 |
| 9 | 質疑応答                    |   | 20分 |

# 【実施の様子】

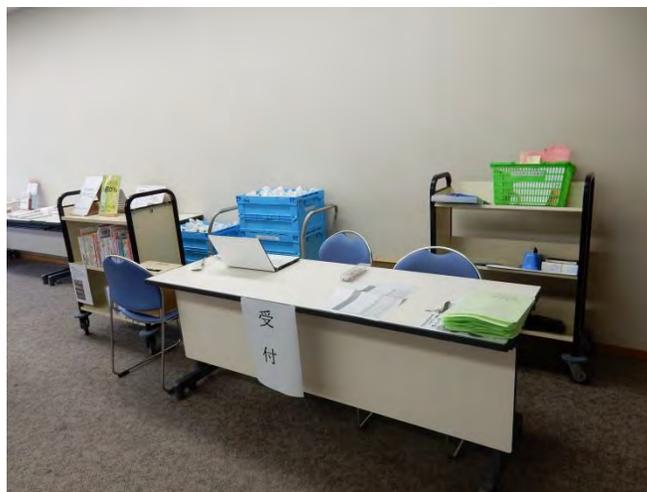
## 講座の様子



病院側・図書館側ともに「持ち帰りのできる冊子やパンフレット」を用意



がんに関する図書館の本を  
選書して頂き紹介



受付や案内、誘導については、  
図書館の方々に、ご協力いただき  
ました。

# ③ 直接情報提供をする = 交流をする 【情報発信】

教育立市宣言シリーズ 66

学びを支える **Only** かわちながの

## 身近な暮らしに 役立つ図書館を目指して

市民のみなさんの身近な図書館を目指して、  
様々な取り組みを進めています。

地域の課題解決や日々の暮らしに図書館をお役立てください。

問い合わせ 図書館 (☎ 52-6933)



年始特別開館

平成28年1月2日・3日

午前10時～午後5時

主な取り組み

- ・図書館資料の計画的な整備・保存の推進
- ・午前9時30分から午後8時までの開館
- ・郷土資料の保存・活用
- ・オンラインデータベースによる情報の提供
- ・多彩なイベント・講座の開催

みんなで創ろう 潤いめぐる 緑と文化の輝くまち 河内長野

広報

# かわちながの

12

December 2015  
No.1106

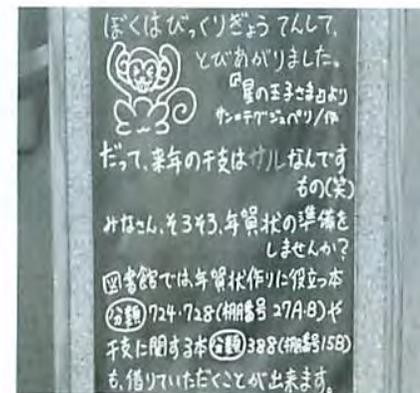


匠の技で醸す

太閤秀吉も愛した「天野酒」の  
蔵元 西條合資会社にて始まった新酒の仕込み。  
「うまい」と言われる酒を造りたい。  
社員と職人たちの挑戦は春まで続きます。  
(写真は蒸し米に麹を加えたりかける作業。15ページに関連記事)



「こくじらひろば」の様子。赤ちゃん向け絵本を思い思いに楽しむことができます（休館日・祝休日を除く毎月曜日午前10時～午後4時開催）



図書館入口では告知ボードがお出迎え。お探しの本について、気軽に図書館員にご相談ください。思わぬ本から悩みごとの解決方法が見つかるかも？



医療機関との連携により8月に実施した講演会。健康情報に関する講座も人気が高い講座の一つです

# 連携のための関係づくりで大切なこと・その意味

## 【病院が考えたこと】

### ●プロセスも大切

- ①お互いを見学 = 知り合う……どんなところ？っていうことを知りました。
- ②連携をする = 結びつく……お互いの特性を生かした情報のやり取りをしました。
- ③直接情報提供をする = 交流をする…一緒にひとつの企画を行いました。

### ●思いも大切

お互いを知り合い、交流を図ろうとするお互いの気持ち大切です。  
その中でコラボする意味や利点を感じ、さらには、「おもしろい」「楽しい」と思えることが大切ではないかと感じています。

お互いの強みを生かし、「多くの」市民・住民のQ O Lの向上につながる意味がある

# 【図書館が考えた】

住民へ提供する医療・健康情報を充実させて、もっと図書館を利用してほしいと考えている図書館も多いと思います。地域の医療機関と目的意識を共有し、情報交換を重ねることによって、その地域のニーズに合った新しいサービスが生まれるのではないかと思います。

**花井さん**  
河内長野市立図書館

医療・健康情報について相談できる場所が多くあることは、いいこと。図書館で解決できないことを相談しているところがあるのは、私たちにとっても、心強いです。連携しているからこそ、できることを考えていきたいと思っています。

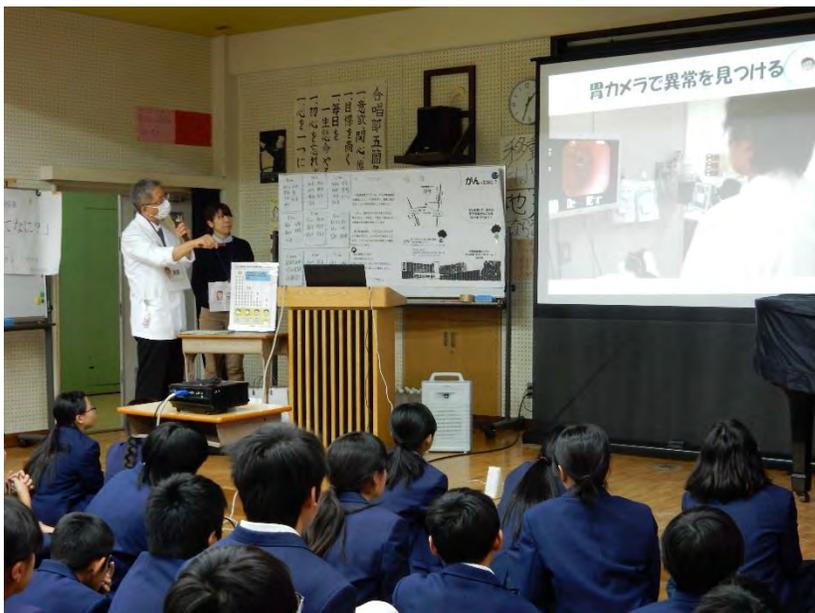
**小西さん**  
河内長野市立図書館

# これからどうしましょう？ = 今後の展望

① 図書案内の医療健康情報の書架の一部に、医療健康情報に関するパンフレット・リーフレットのファイルや、近隣の医療健康に関する講座・イベントのチラシ、医療健康に関する図書館所蔵ブックリストなどの配置や、図書館員が選んだおすすめの医療健康に関する本の展示を行う書棚を設ける。

② 医療健康に関する講座（昨年の引き続き）

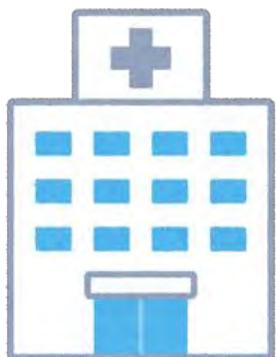
### ③がん教育の本の選定とリストの作成、団体貸出



市内の中学校へ年に2回程度「がん教育」の出前授業を実施しています。

大阪南医療センター がん教育プロジェクト“くすのき”

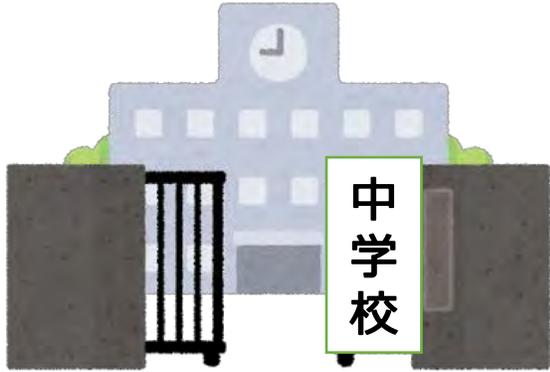
<http://www.ommedc.jp/~cace/>



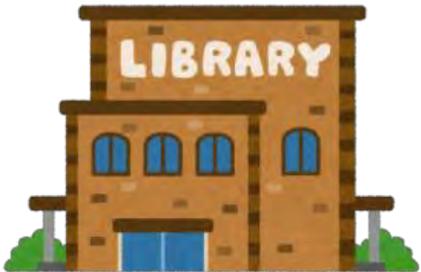
**がん教育（出前授業）**  
<http://www.ommedc.jp/~cace/>

こんな図書ありますよ  
リストの配布や図書の紹介

**教育効果の向上も期待できる**



相談



**団体貸出**  
子どもにも読みやすい「がん」の本  
数日間自由に読めるように学校に  
貸し出してくれる

ご清聴ありがとうございました



# ホームページができました！

## がん教育プロジェクト“くすのき”とは？

がんは、国民の生命と健康にとって、重大な問題となっています。大阪南医療センターでは、がんを正しく理解してもらうために、**子どもと大人を対象としたがん教育のホームページ**を開設しました。本サイトが、みなさんの健康の一助になればとお祈りいたします。



下記にアクセス！トップページからみたい項目をクリックしてください！

<http://www.ommedc.jp/~cace/>

一度、見ていただければ幸いです。